

場 所	桔梗が丘市民センター 202号室
日 時	平成28年6月25日(土) 9:30～11:55
出 席 者	出席者：辻森、大垣、上田、河合、杉中、吉村、阪本、北森、西宮、廣岡、 竹原、武仲、加納、上島、木村、廣岡、松岡、福森監事、植野監 事 大西地域担当監
会長挨拶	大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 辻森会長の挨拶 事業活動に対しての活動ご苦労様です。今年度は、協議会として委員会・部 会の活動だけでなく、定時総会の時に話した平成28年度の主要課題4項目に取り 組めます。
議事 決議事項	1. 「小中学校の規模・配置適正化後期計画及び隣接型小中一貫校配置」の検討。 2. 桔梗が丘市民センター化に伴う運営管理の有り方の検討。 3. 桔梗が丘自治連合協議会各事業の課題整理と次世代に向けた事業の検討。 活動の中で一人でも多くの若い人に参加して頂くことが重要と考えている。 4. お助けセンターの新規事業「外出支援サービス」配食サービス」の推進。 これらが協議会のテーマになると思われ、個々に具体的な提案を行っていき ますのでよろしくお願いします。
1. 平成28年度桔 梗が丘夏まつり予算 (案)について	<大垣副会長(廣岡住民交流部会長が遅れたため代理で提案)> 添付資料「平成28年度桔梗が丘夏まつり予算(案)」に沿って説明があった。 ・協賛金が年々減少傾向にあるので、収入を145万円とし、前年度から44万円 の減少とした。 ・支出を見直し、舞台・音響・照明一式の中の舞台を無くすことで予算を40万 円とし、266,520円削減した。他には開催時間を短くすることによりシャトル バスの使用時間を短くし、3台を2台にすることで削減した。実際には予算 (案)より削減できると思うが、一応2台で12万円とした。その他は昨年度 を基準にした。 <辻森会長> ・夏祭りについては部会・連合会で色々議論があった。協賛金が減少気味でも、 夏まつりの縮小はおかしい。大人達、子供達に楽しい一日を過ごしてもらう ことに変わりがないので、縮小というより予算の中で工夫を凝らす必要があ

	るという意見や、マンネリということに対して、子供が楽しく集まるのが祭で、祭にマンネリは無いとの意見があった。協議会でも縮小するつもりはなく、過渡期として、今年度の計画を立てたので、みんなが集える楽しい夏祭りにしているため、検討していくつもりです。 議長より、夏まつりの予算（案）について採決を求め、採決の結果、承認された。
意見交換 報告事項 1. 平成28年5月度協議会会計及び市民センター会計累計報告について	・夏まつりの決算は、夏まつり実行委員会として決算して監査を受けているのか。繰出金は住民交流部会で監査を受けているが協賛金は資料に出てこないのではないかと。 → 決算報告はしているが、監査はしていない。住民交流部会と打合せて見直します。 <松岡事務局次長> 添付資料「平成28年度 協議会会計 収支累計表」に沿って説明があった。 ・収入は累計表のとおり。 ・支出は総合計で6,73,570円であった。大きな支出として、コミュニティ活動費、地域福祉費、教育文化費がある。5月ということで本格的な活動が始まりこの金額になった。他に総務費／会議費は予算30万円に対し、256,360円が支出され、残りは5万円を切っているので切り詰めて進めて頂きたい。総務費／事務費の130,973円は提言書印刷代であるが、これは印刷用インク、コピー紙代のみで、本来ならもっとかかっている。 ・欄外の4月末現・預金残高は、5月の間違いで、5月末で10,707,820円の現金と預金が残った。 続いて、添付資料「平成28年度 市民センター会計 収支累計表」に沿って説明があった。 ・収入は231,961円で、全て市民センターとコピーの使用料。 ・支出の合計は582,341円で支出の方が多くなっている。 ・5月末の現・預残高は6,284,481円残っている。支払は消費税の支払で、平成27年度の消費税を申告した。
意見交換	・市民センター会計累計表の最後にある5月末現・預金残高で、未払になっていた27年度未払消費税684,300円が挙がっているが、承認を得た27年度の決算書では684,000円となっており、繰越金が300円違っている。 → 申告した時点では、千円単位とし、千円未満を切り捨てた。会社の場合は大きな単位で切り捨てて消費税なり法人税なりを計上してきた。今回消費税を計算するにあたって300円の端数が出ていたが、これまでのやり方

2. 地域づくり代表者会議について	を踏襲してそれを切り捨てて計上しているので実際の所、300 円違う形になっている。処理としては 28 年度の消費税の所でプラス加算させてもらうことで処理しようと思っている。次年度以降の申告書は百円単位までにします。 <辻森会長> 添付資料「第 1 回地域づくり代表者会議 事項書」に沿って説明があった。 3 項「会長、副会長の選出について」会長にはつつじヶ丘、副会長には錦生、美旗、中央の地域代表者が選出された。 他、名張市行政関係 3 1 委員会・協議会の各委員が推薦され決定された。桔梗が丘自治協議会代表は名張市空家等対策推進協議会委員選任された。 4 項「各地域づくり組織における課題等に関する協議及び情報交換」について、 ・地域づくり組織条例を添付した。桔梗が丘は広い地域で多くの自治会が活動しており、住民の自治に広く携わっています。名張市のホームページに組織についての色々な条例があるので念のために読んで今後の活動の参考にして欲しい。 ・組織条例に基づき行政と協働で活動しているが、色々な課題が出てくる。協働という対等の立場の中で、色々な課題を、どういう風に地域づくりのために実施していくのが重要ではないかと思う。 5 項「各室・関係機関からの依頼事項等について」に沿って説明があった。 ①「参議院議員通常選挙に関する協力依頼について」は、桔梗が丘における 4 会場の選挙立会人の選出を各ブロック長さんにお願ひし、まとめて申請した。 なお、第 2 ブロックの管理者は橋本さんの後任に杉中さんを推薦させて頂きました。 ②「名張市総合防災訓練の概要（案）について」 区長・自治会長と連携して訓練することになると思う。 なお、桔梗が丘災害対策本部（桔梗が丘市民センター）は例年通り立ち上げます。 ③「名張市ばりばり食育推進計画について」 詳細は事務局ファイル資料を参照下さい。 ④「民生委員・児童委員の一斉改選について」 民生・児童委員が任期満了の時期を迎えています。区・自治会の推薦になるが、各区・自治会から事務局に連絡し、事務局から一括して提出することになっているので選出等にご協力をよろしくお願いします。 ⑤「地域福祉教育総合システムについて」 行政は「ばりっ子未来応援地域ネットワーク形成新事業」を含め市は推進計画基準を出しているが、多くの活動は 15 地域で実施されている。
--------------------------	---

意見交換	桔梗が丘の場合、色々な形で活動しており、社会との接点を一つでも多くして、興味ある事業活動をやっている。子どもたちと地域のきづなづくりの花いっぱい運動等ほか。また、快適環境部会のホテル観賞会、生きもののウォッチング、バードウォッチング等ほか、教育文化部会の桔梗セミナー、ふるさと歴史ハイキング等ほか、健康福祉部会のニュースポーツ世代間交流等ほか、地域福祉部会のなかよし広場等ほか。また、桔梗が丘の夏まつり、や各区・自治会での子まつり、どんど、ほか多岐にわたり活動を行なっている。 詳細は事務局ファイル資料を参照下さい。 今回の市の提案の詳細について、後日、確認します。 ⑥「平成 28 年度まちじゅう元気!!プロジェクトについて」 本年度の特定健診・がん検診 地域別実施計画が決まりました。 具体的にはその時期になれば回覧等で皆さんに説明させて頂く。 ⑦「平成 28 年市国保特定健診・後期高齢者検診の受信啓発について」 詳細については市広報等で周知されます。 ⑧「名張川納涼花火大会へのご協力について」 協賛金箱を市民センターの事務所に設置しました。 例年どおり協議会の会計から出費せずに募金箱の設置とする。 ⑨「空き家バンク事業の創設について」 市広報・市ホームページで公開されますが、空家の利活用・流通を目的としています。 ⑩「小中一貫教育と名張版コミュニティ・スクールの導入について」 先に 5 項⑤で述べましたが、当地域においては、多岐にわたり活動を実施している。 詳細は事務局ファイル資料を参照下さい。 6 項その他 ・当自治協議会から「小中学校の規模・配置適正化後期計画」に対する提言書を他 14 地域代表者へ配布した。 <大垣副会長> ・「総合防災訓練は」11 月 19 日に決定されている。桔梗が丘全体としては例年通り各区との連携をとるということで、防災本部を会長・副会長・生活安全部会長、市民センター長、事務局長が市民センターに集まって立ち上げる。各地区と電話連絡等で情報の交換、安否確認をすることになるのでご協力をお願いします。
-------------	---

3. 平成28年度「敬老の日」の名簿について 意見交換	・「小中一貫教育と名張版コミュニティ・スクール」は何をやりたいのかよく分からない。市教育委員会が関わる人を選任することで地域の代表を選ぶことになっている。地域が推薦した人を受け入れるのなら分かるが逆のような気がする。 ・「参議院議員通常選挙」の立会人について、西の方は既に出しているがメンバーを変えたい。選管に確認したらまだ間に合うとのことでしたので了解願う。 → 変わった内容だけ連絡下さい。 ・民生・児童委員の推薦は何日までにしなければならないのか。 → 提出は7月25日までに、市への提出は一括して8月1日。 <辻森会長> 「敬老の日」の名簿について協議会宛と各自治会宛で来ているが、前回の連合会で例年どおり健康推進部会がまとめて申請することで了解を取り、一括して市役所に申請した。70歳以上の方の名簿は各区長・自治会長に渡し、コピーを持っていただくようにしている。個人情報の問題はあるが、地域の地域づくりに必要なものとして民生・児童委員と共有して頂くように各区長・自治会長に依頼している。 ・名簿は昨日市役所に提出したが、提出方法が変わったのは、市役所の担当が変わり、引継ぎがうまくいっていなかったため。
4. 「小中学校規模・配置適正化後期計画」の市教育委員会説明会開催について	<辻森会長> ・「小中学校規模・配置適正化後期計画」の市教育委員会説明会を7月23、24日に行う。 ・基本的には3月に行われた説明会での疑問に対しての回答という形で行う。 ・説明会后、協議会から提言書が出され、教育委員会から保護者等々に2回説明会が持たれている。その中で4月中旬までに回答を出すという市教育委員会からの約束に対してまだ何の連絡もなかったので、こちらから催促し、日程調整の結果、23日と24日に決まった。23日は西第2集会所で14時半から、24日は9時半から11時半まで桔梗が丘南市民センターで、14時から16時まで桔梗が丘小学校の体育館で行う。前回は1日で行ったが、1会場 半日・半日という形で時間をかけて2日間に分けて行う。 ・23日が雨になると、24日は5番町2区の夏祭りとなるが、朝からなので影響はないということで了解をもらって決めた。 ・桔小の体育館の会場整備については提言委員が中心となって場所の設営等々を含めておこないます。 ・内容は、前回の質問に対しての市教育委員会の回答が中心になると思うが、こちらから事前に質問書を出し、それに答えてもらう形ですすすめます。続い

備品について	て一般からの質問になると思う。質問書の内容については明日提言委員会で検討し、決めさせていただいた後、皆さんにご連絡する。 ・今回は教育委員会と子供部が出席する。 ・前は椅子が足りなかった。については、準備の机・椅子は明日検討する。 <大垣副会長> ・教育委員会主導であれば挨拶から始まって長くなるので、司会はこちらが立て進行する。 ・4月中にやると言っていたのがなぜ遅れたのかから始まる質問状を作るということで検討している。 ・この件に関して会長から教育委員会の会議録、議事録を文章公開決定で取っていただいた。これによると、文章の表現に関するものが多く、内容についてどう考えているかがよく分からない。 <辻森会長> ・今回受け取った公開文章には肝心なものが抜けていたので、基本方針に係る資料及び小中一貫教育に係る資料を再度請求した。 <辻森会長> ・夏まつりに関して、会場に必要な机は南市民センターの倉庫から出し、不足分を市民センターから出す。ただ、外へ出すと壊れる確率が大きく、年々壊れたりして机が少なくなっている。去年10脚位壊れたので毎年ある程度補充する必要がある。についてはどの費用で補充するのか。夏まつり全体の中で出すのか、協賛金から出すのか色々な方策が考えられるので検討をよろしくお願いしたい。
その他 連合会への依頼事項	<大垣副会長> 連合会への依頼事項として参議院選挙立会人の選出の依頼、夏まつり協賛金の集金依頼、「こどもを守る家」タペストリーの3項目挙がっている。 ・協賛金の集金に関しては、去年をベースにした名簿を今月中に渡すので、検討して頂き、7月早々、お願いの文章を会長名で発送して集金に回って頂くことになっているのでよろしくお願いします。 <杉中理事> ・「こどもを守る家」タペストリーとは、こどもを守る家と書いてあるものを玄関の門柱の所に掛けているもので、H26年4月のものが古くなっている。そこで東小の子どもの連絡会で点検したらどうかという話があり、4番町で点検したところ、名前が書いておられる方でも亡くなっている方や、家庭の構成が変わっている方もいる。については桔小や南小の地区の方も見直したらどうか。

	<辻森会長> ・市民センターにタペストリーの名簿がある。前回の連合会の時に各区長・自治会長に渡して名簿のチェックをお願いした。チェックだけでなく、タペストリーが古くなって壊れたものや、古くなったもの、汚れたものについてどうするか。前回はロータリークラブがタペストリーを寄付したが、市の方で残っているかどうか確認して頂きたい。
意見交換	<大西地域担当監> 去年そういった問い合わせがあり確認したが、残りはあまり無かったと思うが確認します。 ・基本的には交換する時期が来ている。 ・南では3年前に全て取り替えた。 ・タペストリーの掲示は、商店か、おじいさんおばあさんがいるとか、誰か人がいる家が良い。 ・低学年の子に、ぶら下がっている家は色々助けてくれる家だという教育をしてもらわないといけない。帰りに家の前を通ってそういったことを学校の先生が教えることも大事と思う。 ・入学式の時に言ってもらうとか、こういうものはこういうためにあるとか説明してもらうことが必要。 ・子どもの目線で子供にPRが必要。
「公開捜査が必要になった場合の地域のSOS体制	<辻森会長> 添付資料「公開捜査が必要になった場合の地域のSOS体制」に沿って説明があった。 ・3～4年前にこういう行政により、地域SOS組織体制がつくられた。 ・公開捜査が必要になった場合は、そこの自治会の方、区長・自治会長に知らせる。区長・自治会長・他の方、民生委員が中心に連絡して頂いて、その地域として消防本部に発信してこの体制となる。
委員会・部会活動報告 総務委員会	<大垣総務委員長> ・総会で認めて頂いた会長へのいわゆる活動費の支払いは、6月と12月の2回に分けて10万ずつ支払って頂く。名目は委託金が良いか、活動費が良いか。
意見交換	・会長への支払いの名目は活動費の方が良い。 ・活動費は具合が悪い。決算書に項目が無い。人件費に入れると年間を通じて

企画運営委員会	の報酬として申告が必要になる。契約という形はどうか。協議会の規約を変えて、個人に委託契約としてはどうか。 ・契約とは違うと思う。実際は費用弁償に当たる。皆さんの活動費も費用弁償として支払われている。会長にお世話をかけていることに対する費用弁償とし、私たちが受け取っているものと同じにする。社会通念上おかしくない金額であれば良いと思う。 <松岡事務局次長> ・費用弁償が一番良い。ただ、規約では時間当たりの費用弁償が決まっているが、単価が違うので今の規約では合わない。この単価に合う費用弁償の内規があれば良いと思う。出てきている金額の根拠になるものが必要なので、誰が見ても納得できるものが無いと困る。 <大垣総務委員長> ・費用弁償の内規を作るので費用弁償で払って下さい。 続いて大垣総務委員長より説明があった。 ・総務委員会で毎年行っている講演会を今年は小中一貫教育についてやろうと思う。なるべく早くやりたいが他のイベントと重ならない日を選びたい。9月にイベントを計画されている委員会・部会はあるか。 → 快適環境部会は9月の後半にハイキングを考えている。 ・講演会は9月の第1週か第2週の土曜日に行う。 <阪本企画運営委員長> 添付資料「6月度企画運営委員会報告」に沿って説明があった。 ・お助けセンター配食分科会は配色サービスの開始に向けて準備している。 西宮座長より外出支援サービスについて説明があった。 ・外出支援サービスは8名が三重県の交通安全研修センターで研修を受講。内容は今のブレーキシステムで急ブレーキをかけた場合どれくらいで止まるか、雨の日とか雪の日にハンドルが取られないかを体験する運転のシミュレーションを行った。他に視野はどこが弱いかな等の確認を行い、結果は全員が普通だった。 ・6月22日に外出支援分化会を開催。7月から試験運用が開始されるため、受付の体制や受付に来た時に利用者に連絡する内容等々について話し合った。 ・外出支援サービスの公用車は、マツダ・ホンダ・ダイハツの3社を比較した結果、乗り降りしやすいことからダイハツのタントに決めた。 ・側面からあたった場合のエアバッグ、カーナビ、半年ごとの点検、ハンドルの調整を付けて1,476,960円になった。 ・色は目立つ色が良いので黄色にしたい。 ・車の持ち主の名義はどうするか。
---------	--

意見交換	・黄色は当てられないので良い。 ・名義は協議会にする。 ・車は何日から使用できるのか。 → 8月から使用できる。 続いて、阪本企画運営委員長より企画運営委員会について説明があった。 ・地域フェアについて意見交換を行った。 ・昨年の地域フェアを振り返ってみて、全員の交流会については成功したが、新人参加については不調であった。 ・今年については誰でも参加し、関心の持てるものにする。 ・内容としては大きなテーマを持ってはどうか。各部会毎のイベントなりをしてはどうか等の意見が出た。 ・次回は企画運営委員会の進め方をまとめて、素案を出し討議する。また、各部会・プロジェクトの案を持ち寄って討議する。 ・あくまでお祭りのような雰囲気で誰でもが、ぶらっと来て楽しいものにする。 ・全館を貸し切って、各部会がフェアをやる。健康推進部は健康フェアを、農楽園はさつまいもの焼き器を社会福祉協議会から借りて焼き芋をする等各部会ともアイデアを出してもらおう。
意見交換	・市民センターを使用するとのことだが、公園の東屋で行うのも良いのではないかな。 → 24日にアイデアを出してもらおう。 ・地域に協力してもらえば、各ブロック長を集めて主旨説明を行って依頼するのが筋で、各戸撃破は本来やってはいけない。全員に来てもらって説明するのが筋である。 ・今日、農楽園の玉ねぎ、ジャガイモの販売が開始された。そうすると市民センターでの物品販売になる。プロジェクトの販売で営利目的ではないから良いとはいうものの、そろそろ規約の見直しに入らないといけない。 ・市民センター化に伴う人員のあり方とか人数とか配置の問題とか色々あるので特別委員会を作って検討する必要がある。特別委員会は、企画運営の金谷さんを世話役として、会長、副会長、センター長、事務局長を中心にメンバーを決定し、7月頃から徐々にやり始めようかと思っている。固まりましたら皆さんにご提示したい。 ・物品販売について規約を作るように市から言われている。先行モデルになるように各地区から期待されているが、できるなら市の方で物品販売に関するモデル規約を作ってもらった方が一番有り難い。桔梗が丘に任せると本当に独自のものができる。

広報委員会	<大西地域担当監> ガイドラインとかは無いが、市民センター化されたら、社会教育部の枠から外れるので営利目的の販売とかをやっても良くなる。ただし、無限連鎖講的なものはいけませんとかはある。そういったことを例示したマニュアルがあったと思うが、ガイドラインは作っていないので独自で作っていただいて結構です。 ・これまでも既に他の地域で市民センターがあった。そこでの内規は無かったのか。 → <大西地域担当監> 名前は市民センターでしたけれども中味は公民館でした。 ・通常考える営利としてのランクを大きく逸脱しない範囲の、地域的な活動の中での費用弁償的に通常頂くものであれば基本的に全てOKだったと思う。公民館でも社会教育法の中でも営利目的ではない、いわゆる費用弁償とか、実費程度とかはOKということではないか。さらに、地域物産振興というのも大きな行政目的ですから、地域物産的なものの販売についても全て問題無かった。 ・新しい条例でも何をやるか、どう利益を上げるかは、創意工夫してやって下さいとなっている。収益活動の場所が市民センターであると、施設や備品の使用、準備が必要となり、その費用の精算が必要となる。市民センターのバックアップ、サポート無しにはできないから、打合せを密にしてもらいたい。 ・市民センターの備品を利用したものについての利用料は徴収する形での規約があるが、今後の活動を考え、約束ごとは作っていかなければならない、検討委員会での検討課題になると思う。 ・今日は販売を協賛金と名前を変えて行った。販売の手続きの手順だとか、こういう場合は持ち込みだとか、こういう場合は備品を共用でやるとか、あくまで地域全体の活用の中でどうしたら良いか、ということをテーマとして今後の委員会等で検討して頂いたら良い。 ・市民センター長として、考えられる問題点を委員会までに精査して頂ければありがたいと思います。 <北森広報委員長> 添付資料「理事会報告 2016 年 6 月 広報委員会」に沿って報告があった。 ・第 371 回市議会があり、桔梗が丘で問題になっている小中学校の統廃合と一貫教育のことを書こうと思って行ったが何も出てこなかった。 ・市長の発言で気になったところがあったので載せる。 ・提言書に対して、励ましの手紙を貰っている。 ・統廃合と一貫教育での具体的なものを載せる。
--------------	---

意見交換	No. 1として、28分遠くなったケースを取り上げる。遠くなるとの話を聞くが、子供の足で実際はどうか。どういう道を通ってどれくらいかかるのかを考慮に入れて紹介する。 これをシリーズで続けていきたい ・桔梗が丘の駅前で子供の通学の写真を撮った後、旗を振っているお母さんと話をしたが、じっくりと見据えている人もいる。そういう人にも情報を提供していきたいと思っている。 ・来月は23,24日の説明会を載せる予定。 ・ききょう通信がよく読まれるのは行事の紹介。毎月発行するなら、次月に予定している行事を載せてはどうか。 → 印刷は予定が分かるが、配布の日によって既に終わった行事になるものが出るので載せていない。 ・ききょう通信を1回/月発行すると大変ではないか。誰かスタッフみたいな人が必要ではないか。 → 時間的には同じ。2カ月毎にB4だったものを毎月A4に変えたが、取材の量は月々に分かれるので負担は楽になった。 ・市議会報告ということで書かれているが、文部科学省はまだ何の指針も出していないので、亀井市長云々は市長の発言だけでなく、全体的な配慮の中でどうかという内容が必要だと思われる。 学童保育には、多分「家庭で」が入ると思うが、おじいちゃんおばあちゃんが良いのではという発言については、言葉の発言ではなく、学童保育とはこういうものだということから全体的に考えて頂きたい。
健康推進部会	<西宮健康推進部会長> 添付資料「健康推進部会報告」に沿って説明があった。 ・健康ウォーキングで赤目ハイキングに行った。費用は近くであったことと一部寄付をして頂いたので予算の半分位で済んだ。 現地のキャンプ場の駐車場の後ろを借りて色んなゲームをやったのが喜んでいただけた。もう年に2回位できないのかといううれしい感想を頂いた。 ・もうすぐ子供達の夏休みで、子供達が参加する体操会の参加賞について、連合会では、子供の参加日数も少ないし、出す必要がないのではないかという意見が出ている。子供が夏休みに参加することは良い事だし、参加した子供達の姿を見て体操に来られている高齢者の方も元気になられる。そういう意味で参加賞は出しても良いのではないかと考えている。ただ、危惧しているのは、申請した人数掛ける300円を世話人に渡しているが、そこから先は分からないので本当に子供達の所へ確実にいくような渡し方をしないとイケないのではないかと気になっている。

意見交換	・そこまでの確認は必要ないと思う。むしろある地域にはやっているが他はやっていないということがあればそっちの方が問題だと思う。主旨が子供さんとのコミュニケーションを含めての集まりに重きを置くのも一つだし、それを見て喜ぶ年寄りの方に重きを置くのも一つ。そういう主旨であれば全区に均等配分したら良い。 ・協議会から 300 円もらったとしても、区の方で 300 円だけを渡さず区で 200 円追加して 500 円にして図書券なりを渡しているところもある。区々で色々な対応を行っているのでそれで良いのではないか。 ・最初は長年体操をやっているところがあり、夏休みに何か協議会から援助できないかということで援助を始めた。その後いろいろな地域で行われているのがわかり、参加者全員に渡そうということになった。ところが、1 週間しかやっていない地域、夏休みずっとやっている地域、夏休みに前半 1 週間と後半 1 週間やっている地域など、それぞれ地域の特徴があることがわかってきたが、人数・時間に関係なく渡させてもらうことにしている。 ・お金の流れとしては、お金を渡した人から領収書みたいなものはもらっているのものでそれで良いのではないか。 <辻森会長> ・昨年どおり参加した人には申請一人当たり 300 円の補助を出す。あくまでも補助ということで出させて頂く。
教育文化部会	<竹原教育文化部会長> ・桔‘ずセミナーは募集中で 30 日に参加者への手紙を出した。 ・アンケートは学校に依頼します。
生活安全部会	<武仲生活安全部会長> 「6 月度理事会 部会報告」に沿って説明があった。
意見交換	・パトロールの時間は冬も夏も同じか。夏季時間と冬季期間を決めて、例えば半時間でもずらしてはどうか。 → 時間は同じです。最初は夏と冬で時間をずらしていたが、4 時から 5 時の間は下校の時間で、それに合わしている。また、時間をずらすと隊員がその都度、時間を合わす必要があるので統一した。 ・広報委員会と生活安全部会は人員不足に陥っている。沢山の人数を集められるように、心当たりが有ったら声掛けしてもらいたい。 ・生活安全部会も高齢化しているので補充が必要。
快適環境部会	<加納快適環境部会長>

地域福祉部会	添付資料「快適環境部会の行事報告」に沿って説明があった ・通学路の花いっぱい運動が行われている。そこでききょうの苗を 50 株位配布するように考えている。
住民交流部会	＜上島地域福祉部会長＞ 添付資料「陽だまり」、「地域福祉部会会計報告」、「地域福祉部会（民生児童委員）活動報告」に沿って説明があった。
	＜廣岡住民交流部会長＞ 「桔梗が丘夏まつり予算（案）」については既に承認を得たが、廣岡住民交流部会長より補足説明があった。 ・協賛金は事務局でご用意頂いて例年どおり連合会で各区長さんをお願いする。金額については昨年度 97.5 万円、その前が 99 万円、少しずつ減っているが、一気に 70 万円と減らしたのは、現実的ではないと思うが、徐々に少なくなっているという事で決めさせてもらった。 ・イベント費では桔高の吹奏楽部を入れさせて頂いた。このまま桔梗高校が無くなるのは寂しいという意見が出て、舞台が無いのでパレードだけでも出て頂く方向で進めている。 ・盆踊りについては、今までは踊れる方に出てもらっていたが、踊る方が少なくなってきた事から、出て下さいという依頼が必要ということで、イベント費の中にお礼として何かをするという事で予算を入れた。 ・舞台照明費は昨年度 66 万円だったが今年は 40 万円とした。電気代の 18 万円は必ず必要だが、やってみないと分からないが、電気代プラス音響ということで予算を決めた。 ・縁日費は 200 円の利用券を 1500 人分ということで決めた。 ・合計で 145 万円の予算とした。 ・今後の予定は、7 月 20 に部会を持って、22 日に模擬店の利用者の方に集ってもらって説明させて頂くということにした。 以上で、本日の議事は全て終了。 議事録署名人には加納康嗣氏および上島芳子氏にお願いし、両名了承。 次回の理事会は、 月日 7 月 23 日（土） 時間 午前 9：30 場所 市民センター 202 号

議長

辻森保蔵 

議事録署名人

加納康嗣 

議事録署名人

上高芳子 

	副会長	副会長	総務委員長	書記
				